

凡 例

- ・多門院区有文書は、京都府舞鶴市多門院区に伝来する近世から昭和にかけての 280 点の文書群である。本文書は、京都府立大学文化情報学研究室・舞鶴地方史研究会が共同で整理した。
- ・袋・包紙などは文書に付属して採用しているが、単体のものは個別に番号を付与した。
- ・表記は原則として常用漢字を用い、常用漢字がないものは正字を用いた。ただし一部の仮名（江、茂）などはそのまま使用した。
- ・虫損などで文字が判読できない場合、字数が明らかなものは□で記し、字数が不明なものは〔 〕で表記し、その項目に記述がない時は「―」で表した。
- ・年月日は原則として作成年代を採り、年月日が内容・干支などから推定できるものは（ ）で記した。
- ・表題は原則として原題を採り、原題のみで内容がわからないものは、（ ）で内容を補った。また、原題のないものは、適宜文書名を付け〔 〕で記した。
- ・作成は文書の表記の通りに記し、印判で推定できる場合は（ ）で補った。印がある場合は（印）と表記した。
- ・宛名は文書の表記の通りに記し、殿・様・御中などの敬称もそのままつけた。
- ・形態は古文書学の形状分類により、近代文書で分類にあてはまらないものは適した名称を記した。点数が複数の場合のみ数字を付した
- ・内容は、文書の概要の他、一括状況や包紙・貼紙・端裏・奥書の有無とその記載内容、地名など上記で表せなかった内容を記した。

番号	年月日	西暦	表題	作成	宛名	形態	内容
1	昭和24年度	1949	氏神祭典祭礼費用計算及割付帳	多門院惣代奥野一郎	—	縦帳	寄付帳、慰安会費用、祭具費、演芸会経費
2	—	—	柴草山元小字仕訳書	—	—	縦帳	黒野谷～由里ヶ花
3	明治19年4月26日	1886	野山入会差拒害件、大審院破毀裁判後之審判願	審判願方加佐郡溝尻村平民農上羽辰蔵、右代表人大阪府東区伏見町2丁目18番地寄留京都府士族梅田壯二	広島控訴裁判所長代理判事木付義路殿	縦帳	1～11条、明治14年1月11日起訴、明和元年多門院村論山、明和2年、天保14年の記録、舞鶴藩日記
4	—	—	[金包紙]	「中御門」朱印	—	包紙	金5円
5	明治19年8月23日	1886	上申書	被願人総代池田秀亮、被願人総代早水藤吉 代理人松山廣居	広島控訴院長堤正巳殿	縦帳	溝尻村提出の審判願への反論書
6	明治21年	1888	通達纏	倉梯村字多門院第六区区长、総代	—	縦帳	明治21年1月～明治23年2月、地券下付書替手数料、結婚送箱、害虫駆除、改正役場開庁式、徴兵適齡者、桑牛諸種調、府會議員改選
7	明治5年	1872	[多門院戸籍村控]	第四区戸長池田彌太郎、同副山本久次郎	—	縦帳	山本仁右衛門～新谷仁左衛門、80軒251人、1丁裏に朱字「明治十九年第四十一号、明治二十年一月十七日、広島控訴院、控訴院評定官津村一郎閣(印)」
8	明治3年	1870	幾利支丹宗門御改帳	北吸村控、庄屋與三左衛門、大庄屋江上甚兵衛	—	縦帳	44軒224人、前半前書、後半五人組記載、表紙裏に朱字「明治十九年第四十一号、明治二十年一月十七日、広島控訴院、控訴院評定官津村一郎閣(印)」
9	大正12年	1923	異動地綴	多門院区长	—	縦帳	脱落地有租地編入願、測量図
10	(明治)	—	山論書類種々入	加佐郡第六組多門院村	—	袋	「外二四袋 合計五袋」、11～40文書一括入
11	明治11年7月21日	1878	[居村野山字平尾へ溝尻村肥草伐取ノ件不服二付申上]	加佐郡第拾区多門院村、戸長新谷仁左衛門	京都府知事横村正直殿	罫紙綴	手続書・御届書・御請書とも一綴
12	明治13年10月22日	1880	祖母谷入会山拒障之儀二付御説諭願	丹後国加佐郡第六組溝尻村津田惣左衛門外壺名	京都府知事横村正直殿代理京都府大書記官国重正文殿	罫紙綴	7条、明治14年1月7日京都府地券役所掛飯田殿より借り受け写し、破損有
13	—	—	柴草山元小字仕訳□□(訳書)	—	—	縦帳	黒野谷～由里ヶ花、破損有
14	—	—	現今ノ藪地	—	—	罫紙	藪地の面積と持主を記載、破損有
15	(明治)	—	惣代御届	多門院村平民中川岩松・山本喜代市・中井宇市	—	罫紙	溝尻村との破毀裁判のあとに両惣代の出頭の異議申し上げ、破損有
16	明治8年6月9日	1875	御願	丹後国加佐郡□□□□用掛り山本傳助、若狭国大飯郡高濱宮崎村□□□同村惣代代 代理人高橋賢三	豊岡県参事田中光儀殿代理権参事大野右仲殿	罫紙綴	多門院村野山、溝尻村入会断申上、端書「柏原殿御掛り」、破損有
17	明治16年6月	1883	第二条	舞鶴旧藩大参事牛窪松軒(印)、城所次郎兵衛(印)	—	罫紙2	郡奉行日記に関する内容、帳はずれ2枚、「甲第拾壹号証」
18	(明治)	—	[論地見取絵図]	原告代人池田秀亮	—	一紙	彩色、溝尻～多門院村、国境・他村界・耕地・川・道路・耕地山界・論地等を色分、「加佐郡第六組与保呂村」「第九号」、破損有、47関連
19	明治14年11月	1881	控訴答弁	溝尻村平民上羽辰蔵外56名代表人大阪府下東区北浜4丁目第38番地寄留石川県士族菊池佩二	大阪上等裁判所判事宇都宮英信殿	縦帳	野山入会差拒控訴の答書、朱字「明治十九年第四十一号、明治二十年一月十七日、広島控訴院、控訴院評定官津村一郎閣(印)」
20	明治10年7月5日	1877	持山反別書上控帳	多門院村惣代人中川岩造○、同石川友市○、戸長新谷仁左衛門○	京都府知事横村正直殿	縦帳	字くろぶ谷からおその口、表紙に明治11年7月4日図面を添え京都府地券掛吉住重之へ上る、末尾に明治11年7月4日に多門院村から宮津支局庶務課分局への「記」、安政2年3月「売渡シ申頼実畑之事」写挟込
21	(明治)	—	口上	—	—	罫紙綴	多門院村山税諸上納並びに山論始終につき、罫紙「池部」、後欠

22	明治 14 年 1 月 18 日	1881	証拠物之写	惣代中川岩蔵印、惣代原友市印	京都府知事横村（正脱力）直殿	郵便綴	第 1～8 号、明和元年の書付含、1 丁上部「改メ書直シタル故コレハ反古同様ナリ」
23	明治 19 年 4 月 30 日	1886	明治十四年一月十八日加佐郡多門□□（院村）ヨリ差出シタル願書之義ニ付伺	加佐郡溝尻村惣代木□□□	京都府知事北垣国道殿	郵便綴	京都府の指令について、広島控訴裁判所へ出訴するため伺、京都府の朱書に指令は無いと有、破損有
24-1	明治 10 年 10 月 18 日	1877	記	丹後国加佐郡第十区多門院村惣代	京都府地券掛御中	縦帳	「加佐郡多門院村持水帳・多門院村御検テメ書之写・合田畑調帳・御答書、右四品奉御高覧入候者也」、絵図面桐実畑書入指示、破損有
24-2	明治 14 年 7 月 10 日	1881	故障地有無調	多門院村惣代・堂奥村惣代・溝尻村惣代・他 9 村の惣代	京都府知事北垣国道殿 代理京都府大書記官国重正文殿	郵便綴	山林改正地券下渡のため、官民有区別調査中故障相論等で所有者未定、破損有
25	明治 6 年 12 月 14 日	1873	乍恐奉願口上覚	当国加佐郡多門院村惣代中川仙次郎・新谷仁左衛門	豊岡県宮津御支庁	郵便綴	溝尻村より多門院村野山入会の件の告訴、宮津支庁聞届難きの朱字、破損有
26	明治 16 年 6 月 1 日	1883	裁決書	大阪控訴才（裁）判所判事田中春□印・後藤□□・中田□□	原告京都府丹後国加佐郡多門院村平民中川仙次郎外七十三名、代人同府平民池田秀亮、被告溝尻村平民上羽辰蔵外五十六名代人大阪府土族菊池侃二	郵便綴	多門院村よりの訴状関係、原告野山全部へ入会権ありとの被告請求は立たず、破損有
27	(明治) 9 年 5 月 18 日	1876	〔多門院溝尻取調正副戸長上県指示他書付〕	本県租税掛	第拾五大区正副区長中	郵便綴	野山肥草刈取の儀御尋、多門院村鍛冶炭税御尋の御答書他、破損有
28	明治 10 年 11 月 2 日	1877	山論書類合表 溝尻村出願書写	丹後加佐郡第拾区溝尻村惣代左近忠左衛門印、評価人矢野市太郎印、戸長矢野忠左衛門	—	縦帳	明治 10 年 7 月宮津支庁の多門院平尾の肥草刈取の違、表紙に「大事」、中表紙「山論溝尻村書類、大切もの」、末尾「於多門院村之野山慣行ノ事」
29	明治 10 年 7 月	1877	〔溝尻村一時刈取差免之儀断書上〕	多門院村惣代人石川与一左衛門、山北久治郎	—	縦帳	端書「行永怡雲庵ニテ上り控、長田殿、大西殿」、「御掛り長田殿、大西殿手続キ控、明治十年七月一日ヨリ七日迄行永怡雲庵ニテ」、破損有
30	—	—	〔土地反別書上〕	—	—	郵便綴	各土地の反別・地価等、田 27 町 3 畝 9 歩、畑 4 町 6 反 18 歩、破損有
31-1	明治 12 年 12 月 10 日	1879	伺書	第六組多門院村総代新谷仁左衛門印	京都府知事横村正直殿	郵便綴	山地民有地編入許可書、伺書の写、反別帳写、柴草山 12 町 1 畝 15 歩、桐実山 21 町 1 畝 12 歩、立木山 10 町 2 反 13 歩
31-2	明治 10 年 8 月	1877	山論ニ付進達留	多門院惣代中、加佐郡第拾区多門院村惣代石川友市・山本久治郎	宮津支庁御中	郵便綴	山論になっている「桐実手数仕出し」を詳細に記載、上申書、野山には桐実畑はなし
32	明治 14 年 11 月 22 日	1881	追願書	加佐郡溝尻村惣代木船又三郎・木船國造	京都府知事北垣国道殿	郵便綴	多門院村の野山地券引上願儀、上等裁判所へ答弁方に差間があったので至急指示を願出、破損有
33	明治 11 年 7 月	1878	山論書類	—	—	郵便綴	表紙「先反古同様ト雖ドモ大切也、明十一年七月改メ」、対決之節心覚、居村鍛冶炭税之儀御届ニ付左ニ申上候、等下書、42 関連
34	明治 5 年 8 月	1872	田畑調帳	多門院村副戸長榎木善右衛門（印）、戸長山本久治郎（印）	豊岡御泉御役所	縦帳	田畑高、永荒・井料・砂入・引高
35	明治 6 年 12 月 20 日	1873	明治六八月ヨリ同十二月入山御差留ニ付諸書差上候迄訴状并ニ嘆願書写	豊岡県御管下第拾五大区多門院村、加佐郡多門院村惣代中川仙次郎、新谷仁左衛門、同村副戸長山本傳兵衛	豊岡県宮津御支庁	縦帳	乍恐奉願口上覚、明和元年の申達、天保 14 年 9 月椿山一件の節改候御沙汰有之候の写、蓬艾摘札 7 枚の記、表紙に「第巻」
36	大正 10 年 8 月	1921	字堂奥火災見舞、朝鮮在勤者慰問割帳	大字多門院	—	郵便綴	堂奥見舞金 92 円、朝鮮在勤者慰問金 5 円
37-1	(明治 33 年)	1900	河川敷取括設計図、其一	製図者京都府加佐郡倉梯村字多門院石川徳蔵（印）	—	一紙	表紙上書「明治三十三年調製、小全図 倉梯村字多門院」、1200 分 1、彩色、37-1～4 紙綴一括
37-2	(明治 33 年)	1900	河川敷取括設計図、其一	製図者京都府加佐郡倉梯村字多門院石川徳蔵（印）	—	一紙	37-1 と同じ、1200 分 1、彩色

37-3	(大正 10 年)	1921	横断面図	—	—	一紙	大正 10 年 5 月 11 日付の舞鶴要塞司令部の検閲印、大正 10 年 5 月 19 日付舞鶴鎮守府の検閲印、西村・大里の丸印
37-4	(明治 33 年)	1900	河川敷取払設計図、其ノ二	製図者京都府加佐郡倉梯村字多門院石川徳蔵(印)	—	一紙	彩色
38	(明治)	—	山論書類目録	—	—	郵便紙	山論書類の表題と冊数、始審原告書類等、破損有
39	(明治 20 年)	1887	御願書	—	—	郵便紙	昨明治 19 年の訴訟の証拠物における文書の下書
40	昭和 27 年 2 月 10 日	1952	土地台帳面と現況の相違調査控	字多門院村惣代新谷長衛	舞鶴市固定資産税評価員奥村泰助殿	郵便紙綴	土地台帳面と現況の相違調査並びに地目変換調査書、固定資産課出
41	(明治)	—	始審裁判書類ノ正写	—	—	縦帳	明治 14 年 10 月 6 日の野山入会差拒ミノ控訴状・証拠物之写・明治 16 年 2 月 7 日弁論書・野山入会差拒控訴之答書・明治 14 年 11 月 12 日証拠物写・明治 14 年 10 月 6 日上申書等山論関係の書類の写、明治 16 年 4 月 13 日御請書
42	明治 11 年 7 月	1878	山論書類	—	—	縦帳	表紙「当分不用ト雖ドモ捨ル事ナラス、明十一年七月改メ」、乍恐以書附奉願候、明治 7 年「嚴舗儉約規則」、明治 9 年野山原由慎行明細書上帳、地味・氣候報告、33 関連
43	明治 14 年 6 月 17 日	1881	地券	京都府(印)	多門院村	一紙	多門院村字ヲソノ口 527 番地、柴草山 4 反 7 畝 20 歩、村中の地価・反別
44	明治 43 年	1910	耕畑・油桐・□□畑名寄帳	—	—	縦帳	土地の段別・地価等の一覧、巻末に溝尻共有山 5 丁記載
45	(明治 12 年)	1879	[多門院村東北境字地図]	—	—	一紙	村境や字、字大口、大松尾、ヲソノクチ、若松国境を記入、彩色、明治 12 年 6 月頃に下渡、「多門院村へ可下戻図面」、丹後国加佐郡第六組多門院村戸長新谷仁左衛門→京都府地券掛御中、45～48 包紙一括
46	—	—	記	—	—	一紙	黒部勘六下々橋より大峠まで他、字間の里程
47	(明治)	—	[論地見取絵図]	—	—	一紙	彩色、溝尻・堂奥・多門院村の論地・耕地山界・道路・川・他村柴草山・立木山・耕地・他村界・国境を色分、18 関連
48	(明治 12 年)	1879	[多門院村絵図]	—	—	一紙	彩色、加佐郡第拾区多門院村持野山并二人持桐突山、反別書入、耕地・持山・村持・川・道路を色分、付箋有(剥離多)、141.7 × 88
49	昭和 6 年 11 月末日	1931	昭和六年度田畑賃貸価格免除申請願綴	多門院区長	—	縦帳	昭和 6 年分田畑地租免除申請書を一括
50	明治 10 年 6 月 10 日	1877	地券	京都府(印)	多門院村	一紙	多門院村字ヲソノ口、耕地、村中の地価・反別
51	昭和 28 年	1953	昭和廿八年度災害関係書類	—	—	縦帳	台風 13 号による農地復旧の関係書類
52	昭和 22 年 10 月	1947	昭和二十二年度氏神祭典祭礼費用、右同年度祖母谷大運動会抛出金計算並二割付帳	多門院村自治会長山本保	—	縦帳	織持・鉢持・貝・鉄砲等祭礼の役割の人名書上
53	(明治)	—	丹後国加佐郡多門院村野山入会争論之詞訟書類扣	詞訟担当者池田秀亮	—	包紙	
54	明治 14 年 2 月 1 日	1881	証拠物之写	京都府平民丹後国加佐郡第六組多門院村被告中川仙次郎外 73 名代人同府平民下京区第 7 組中之町第 248 番地被告池田秀亮	—	郵便紙綴	第 1～12 号、池田秀亮の御伺書、代人御願、委任状の写、止宿御届、御請書、御差紙写、御面接願等綴
55	明治 19 年 10 月 9 日	1883	第貳弁駁書	審判願代理人梅田壮二、願人左近忠左衛門、木船盛蔵	—	郵便紙 縦帳	多門院村上申書に対し、木戸益蔵が地方代官役となり大庄屋と親密で共謀の件他

56	明治 14 年 10 月 5 日	1881	証拠物之写	京都府平民丹後国加 佐郡第六組多門院村 第 998 番地原告中川 仙次郎外 73 名、代人 同府平民下京区第 7 組中之町第 248 番地 原告池田秀亮	—	罫紙 縦 帳	第 1 ～ 16 号、山税証、共有山火入願
57	明治 8 年 8 月 2 日	1875	[伺書]	敦賀県平民若狭国高 濱宮崎町、多門院村 代言人高橋賢造、豊 岡県土族出石組差添 人堀鯉助	豊岡県権令兼五等判事 三吉周亮殿代理豊岡県 権參事兼七等判事大野 右仲殿	罫紙 縦 帳	山本傳助・新谷仁左衛門捕縛赦免後、租税課の論 山分割案承服せず
58	明治 14 年 10 月 6 日	1881	[証拠物之写]	京都府平民丹後国加 佐郡第六組多門院村 第 998 番地原告中川 仙次郎外 73 名代人 同府平民下京区第 7 組中之町第 248 番地 原告池田秀亮	大阪上等裁判所長判事 小畑美穂殿	罫紙	前欠
59	明治 19 年 8 月 24 日	1883	[書簡]	広島県広島区天神町 第 11 番邸大藤喜兵衛 方池田秀亮	中川岩藏様、早水藤吉 様外総代御中	罫紙、 続紙	早水氏よりの費金 2 円送金、詳細は精算書御覽に 入れる、封筒「加佐郡舞鶴丹波町上ノ横町木合菊 藏様」
60	昭和 27 年 3 月—	1952	地目変換書類	新谷長衛	京都府地方務局舞鶴支 局御中	罫帳綴	多門院土地所有者地積・地番書上、表紙破損につ き中に挟込
61	—	—	公共事業実施要綱	字多門院	—	罫紙罫帳	様式雛形、カーボン紙複写
62	(昭和 22 年)	1947	昭和二十二年度下半 期等差表	—	—	罫紙	等級者名及負担額表
63	—	—	地目変換申告書	芦谷嘉一(印)	—	一紙	60 の一部が、破損有
64	(慶長 7 年)	1602	加佐郡多門院村水帳	—	—	罫帳	等級、字、反故数、名請人、表紙後補、裏表紙「明 治元年十月日上紙改」、慶長検地帳か
65	明治 6 年 12 月	1873	奉指上御諸書之事	多門院村惣代中川仙 治郎(印)・新谷仁左 衛門(印)・同村副戸 長山本傳兵衛(印)	豊岡県宮津御支庁	罫紙 縦 帳	多門院村野山惣入会の溝尻村より出訴の件、65 ～ 144 袋一括、袋は絵図の紙背、袋表「加佐郡第 六組 五之内二号 反故袋 多門院村 山論係」
66	(明治)	—	乍恐奉嘆願候	丹後国加佐郡拾五大区 五小区多門院村戸長 誰印・同村代言人仙 治郎	—	罫紙	溝尻村多門院村野山御訴訟の件(下書)
67	(明治) 14 年 3 月 24 日	1881	返報	宮津宮本町山田嘉兵 衛方、中川岩造	加佐郡第六組多門院邸 新谷仁左衛門様	一紙	出津延期願、朱字、封筒有
68	明治 7 年 5 月 14 日	1874	乍恐以御書附ヲ申上 候	多門院村後戸長山本 久治郎・前総代中川 仙治郎・奥野市郎右 衛門・新谷仁左衛門	—	一紙	溝尻村と同道入山の儀、村方一統承服仕兼申上
69	(明治) □年 6 月 5 日	—	[封筒]	戸長	溝尻邸ヨリ多門院邸迄 受附所中	封筒	封筒のみ
70	(明治)	—	[封筒]	第六組戸長役場	溝尻村ヨリ多門院村迄	封筒	封筒のみ
71	明治 7 年 3 月	1874	乍恐奉嘆願口上覚	多門院村戸長山本久 治郎代奥野市郎右衛 門・百姓総代新谷仁 左衛門	豊岡県宮津御支庁	罫紙 縦 帳	当村野山の儀に付溝尻村出訴の件、入山不可因窮
72	(明治)	—	[反故紙]	—	—	罫紙 2	原告代言人
73	明治 12 年 4 月 11 日	1879	御願書	丹後国加佐郡第六組 多門院村惣代人山中 久二郎(印)・元戸長 新谷仁左衛門(印)	京都府地券掛御中	罫紙	銘々持主一筆限境界を記した村山地図面差上、古 図面下渡願
74	—	—	[反故紙]	—	—	切紙	朱書
75	(明治)	—	[多門院村溝尻村入 込場に付下書]	—	—	罫紙	野山に切知いたし
76	(明治)	—	代人御願	—	—	罫紙	柱書「訴訟文通用」、後欠
77	明治 11 年 5 月	1878	[多門院村興禪寺寄 留願]	右村戸長新谷仁左衛 門	但馬國養父郡何村戸長 御中	罫紙	雛形

78	明治7年 8月7日	1874	[多門院村野山書上控]	右村用係り山本傳助	—	縦帳	東西南北境、地味、氣候
79	明治10年 5月26日	1877	[祖母谷論山中に開地なく柴草山・薪ありの申告]	京都府加佐郡第拾区多門院村右郷惣代一瀬宗三郎(印)・山本傳助(印)	—	罫紙	
80	(明治) 9月16日	—	証(書面請取)	溝尻村矢堅久左衛門	多門院村惣代新谷仁左衛門殿	綴	山林反別引直、伺書(奉書下渡)
81	明治8年 4月9日	1875	願書	豊岡県平民丹後国加佐郡多門院村願人中川仙治郎・敦賀県平民若狭国大飯郡高浜駅宮崎町右多門院村惣代同高橋賢藏	田中豊岡県参事殿	罫紙 縦帳	山論の決着がつかず山本傳助・新谷仁左衛門捕縛につき御有恕の願
82	明治10年 1月20日	1877	祖母谷官有山入不入会論所ニ於テ当域新刈取願	加佐郡第拾区溝尻村総代左近忠左衛門・木船収司	京都府権知事榎村正直殿	綴	宮津支庁指示、刈取再願、明治14年多門院村山税証、嘉永元申年四月ヨリ堂奥村并多門院村新林一件記録抜写
83	13年 旧9月20日	—	覚	—	—	切紙	松茸重量値段書上げ札
84	(明治)	—	[封筒]	第六組戸長役場	溝尻村ヨリ多門院村迄	封筒	封筒のみ
85	—	—	[断簡]	—	—	切紙	6点、仁左衛門
86	6月7日	—	覚	—	上	切紙	酒代請取
87	—	—	[封筒]	堂奥村富室利右衛門	多門院村新谷仁左衛門殿	切紙	8円50銭支払、久左衛門戻す、88の封筒
88	(明治)11年 9月6日	1878	[区務所へ出頭通知]	富室氏	新谷仁左衛門殿	切紙	猪撃攘御免許鑑札下げ渡し
89	12月24日	—	[書付]	—	—	切紙	1円久右衛門へ渡ス、裏に婦人乗馬の絵
90	—	—	[封筒]	高橋光右衛門	上羽御氏様	切紙	封筒有
91	—	—	[起業公債請取証]	高橋光右衛門	上羽御氏様	切紙	左近兩人分、
92	10月6日	—	おぼへ	金物屋仁左衛門	上	切紙	そろばんふたぬり代受取
93	11月4日	—	記	店側売捌所吉田半右衛門(印)	多門院村仁左衛門	切紙	木材代受取
94	亥12月	—	覚	六右衛門	黒部仁左衛門	切紙	酒代請取
95	—	—	[名前書上]	—	—	切紙	七兵衛外10名
96	—	—	借用証書(雛形)	—	—	切紙	裏に13年旧3月27日改金額
97	旧9月9日	—	雑種税九月分	新谷仁左衛門	御連名御衆中	切紙	石川弥吉外4名税受取
98	—	—	[木綿代外金銭]	—	—	一紙	裏にも書き込み
99	(明治) 12月18日	—	[徴兵対象者届出の下達]	戸長役場	溝尻村・堂奥村・多門院村	罫紙	徴兵令132条に付、「加佐郡第六組戸長役場」罫紙
100	明治7年 3月9日	1874	乍恐奉願口上之覚	新谷仁左衛門(印)・奥野市郎右衛門(印)	宮津御支庁	罫紙 縦帳	山論裁判中、薄雪にて雪解け山稼ぎ薪の用意申出
101	明治13年 2月7日	1880	[国民軍人取調]	加佐郡役所	第六組戸長中	罫紙	長男の人名を書上
102	(明治)	—	乍恐書附以申上候	多門院村戸長山本久治郎・総代	十五大区区长御役所	切紙	野山論地入山につき願上の下書
103	(明治)	—	乍恐書附以奉願上候	—	—	切紙	当村溝尻村山論につき裁許
104	明治7年 3月5日	1874	乍恐書附ヲ以奉歎願候	新谷仁左衛門・奥野市郎右衛門	豊岡県宮津御支庁	続紙	山論中山稼ぎにつき入山
105	2月19日	—	税ちん払	—	加佐郡第十区第十二区區務所御中	切紙	大日本帝国郵便の切手、丹後加佐中田局印
106	—	—	記	—	—	罫紙 断簡	秋葉山御札料金銭書上
107	旧8月16日	—	記	奥野市郎右衛門	新谷仁左衛門様	切紙	杭薪木本数・人足人数書上
108	—	—	新種税十月分	—	—	続紙	
109	(明治)	—	[明治六年中よりの山論再訴につき確認]	—	—	罫紙	「訴訟用」の罫紙

110	(明治)	—	[人名書上]	京都府平民丹後国加佐郡第六組多門院村被告中川仙次郎外72名代人同府平民下京区第七組中ノ町第248番地	—	罫紙	「訴訟文通用」の罫紙、前欠・後欠
111	明治14年3月13日	1881	記	大内町志水滄蔵	上	続紙	金銭請取
112	—	—	[袋]	—	—	袋	111の袋、「舞鶴町大内町蛸堀所志水製」印
113	明治15年	1882	[付箋力]	—	—	切紙	「改正山反別組合小前帳」等の朱書
114	明治14年旧正月27日	1881	記	仁左衛門	嶋田伊平殿内御隠居分	切紙	久右衛門頼母子講掛け金支払
115	10月11日	—	[書簡]	本校在務杉本與嘉(印)	多門院邸総代・係御請人御中	罫紙	林俊太郎の出張につき、罫紙利用の封筒有
116	明治13年12月7日	1880	[書簡]	元大唐内受附藤木丑之助	多門院村総代新谷仁左衛門殿	切紙	預ヶ山税米未納につき問い合わせ、封筒有
117	(明治14年)	1881	[書簡]	(中川) 岩造	新谷仁左衛門様	続紙	池田氏の宮津出張につき、封筒有、宮津宮本町山田嘉兵衛方止宿中川岩造宛、加佐郡第六組多門院村石川与市左衛門様宛、明治14年4月17日の日付有
118	明治14年3月21日	1881	[書簡]	(中川) 岩造	新谷仁左衛門様・石川友一様	続紙	池田氏母子病気につき、封筒有、宮津宮本町山田嘉兵衛方止宿、加佐郡第六組多門院村石川友市様宛
119	(明治7年)	1874	[日本地誌略巻之二断簡]	—	—	罫紙断簡	立山、砺波山、神通川の解説、「日本地誌略巻之二 文部省」の柱書
120	(明治)	—	[御請書下書]	右五小区多門院村小前総代・用係り	—	切紙	溝尻村より当村野山官有地入会山論に際し入山留山御請書差上、「浜村得月庵ニ柏原殿方」
121	(明治)	—	[願書下書]	—	—	切紙	4月に至り村中申合村法仕来鎌止、その後柴草の口明刈取、旧高292石戸数79戸、生活難渋につき、後欠
122	—	—	[地目反別書上]	—	—	罫紙	前欠・後欠
123	(明治)5月27日	—	[書簡]	西京下京区第七組中之町池田秀亮	多門院村石川友市様	続紙	面談したい旨依頼、123～124封筒一括
124	(明治)5月27日	—	[葉書]	下京区第七組中之町池田秀亮	丹後国加佐郡第六組多門院村石川友市様	葉書	宮津行きにつき
125	明治14年2月4日	1881	函面拝借願	—	—	罫紙	御組内全図1枚、堂奥村、溝尻村両村の函面
126	明治14年1月29日	1881	訴答日之処御猶予之義再追願	京都府下丹後国加佐郡第六組多門院村総代	—	罫紙	野山入会相拒事件の答弁、京都府地券係へ取調者未帰村のため、「訴訟文通用」罫紙、罫紙一枚折込(同文朱書 京都裁判所宮津支庁長 判事補三輪貞幹殿)
127	明治12年12月5日	1879	[多門院村山反別民有地編入達写]	京都府	多門院村	罫紙断簡	柴草山12町1畝15歩、桐実山21町1畝12歩、立木山10町2反13歩、前欠
128	明治6年12月2日	1873	加佐郡多門院村(人名書上)	第拾五大区六小区出掛り登尾村副区長見留	豊岡県宮津御支庁	罫紙	百姓代、副戸長、戸長、後欠
129	明治14年2月5日	1881	[書簡]	長浜村仁左衛門	多門院村仁左衛門	罫紙	木戸益蔵の印形等につき
130	(明治)	—	御願書	—	—	罫紙	野山入会相拒事件、通路積雪旅行ならざるに付、出頭不可のため代人申請書、135の下書
131	(明治)	—	[近世切畑見分文書写断簡]	—	—	罫紙	大庄屋五郎左衛門、切畑見分申付、森・行永・堂奥・多門院村
132	(明治)	—	[山論関係断簡]	—	—	罫紙	明治6年中より山論発生、再訴につき
133	(明治)	—	[心配事書上]	中川岩造・中村伝蔵	山論掛御中	罫紙	明和2年度林新畑潰、御一新の兩舞鶴藩より差出書類焼払様子承他
134	—	—	[表]	—	—	罫紙	罫線に点羅列
135	明治14年2月9日	1881	御願書	京都府民下京区被告多門院村中川仙次郎外73名代人被告池田秀亮(印)	京都裁判所宮津支庁長判事補三輪貞幹殿	罫紙 縦帳	野山入会差拒事件、通路積雪旅行ならざるに付、出頭不可のため代人申請書、柱書「訴訟文通用」
136	明治6年旧7月6日	1873	諸人足控帳	戸長山本久治郎世話方中	—	折紙	表紙のみ
137	(明治)	—	[山論関係下書]	—	—	罫紙	

138	(明治)	—	代人御願	京都府平民被告人 池田秀亮	—	郵便紙	池田秀亮に多門院代言人の委任出願状、後欠、柱書「訴訟文通書」
139	(明治) 12月5日	—	乍恐奉嘆願口上覚	当国加佐郡第拾五大区四ノ小区多門院村百姓一統	—	郵便紙 縦帳	山論のため山稼できずに困窮のため、下書
140	(明治) 10月17日	—	[椿山一件申置]	あらくら四郎兵衛	黒部新谷仁左衛門様	一紙	天保14年9月、草山の歩付申附関係写
141	明治6年 12月2日	1873	乍恐以書附奉申上口上覚	加佐郡多門院村百姓代石川与一左衛門(印)、新谷仁左衛門(印)、副戸長山本傳兵衛(印)、戸長山本久治郎(印)	豊岡県宮津御支庁	郵便紙 縦帳	溝尻村よりの野山惣入会の偽、当村迷惑
142	(明治)	—	[新林新畑拵候事不届申付写]	—	森村庄屋・年寄、行永村庄屋・年寄、多門院村庄屋・年寄外4名	一紙	明和元年10月27日有之書付
143	明治13年 12月22日	1880	委任状之事	加佐郡第六組多門院村中川仙次郎(印)他48名連名連印	—	郵便紙 縦帳	新谷仁左衛門・山本傳助・中井継蔵・石川友市・石川与一左衛門外2名代理人と規定
144	—	—	材割記	—	—	折紙	材割、大工手間代等書上
145	明治20年 1月18日	1887	[上申書、最終弁論書下書]	控訴総代中井継蔵、控訴代理人松山廣居	広島控訴院評定官津村一郎殿	郵便紙 綴	明治19年41号事件に関する、野山税山林税上納に該当の小物成名称他、145・146包紙入、明治18年2月21日出版、下谷区御徒町1-1 佐藤寅吉
146	(明治12～14年)	1879	多門院村全図	(多門院村)	—	綴紙	87×149cm、彩色、凡例記号「道人々持主界川野山 桐実山 山林 耕地 字境 県境 国境 他村境」
147	—	—	備考書	多門院村	—	一紙	包紙のみ
148	明治12年 5月13日	1879	旧拾区内山反別増歩之書類	惣代新谷仁左衛門	第六組戸長御中	一紙	上、下、北吸、濱、行永、森村他
149	(明治)	—	[山論関係覚書]	—	—	郵便紙 綴	明和元年旧舞鶴藩日記の不審箇所指摘、溝尻と多門院の耕地の違い、19年41号件問答、木戸益蔵の来歴、19年12月6日開廷
150	明治14年 6月18日	1881	御伺書	丹後国加佐郡多門院村惣代新谷仁左衛門(印)、差添人愛宕郡第三組修学院村早瀬寅次郎(印)	京都府知事北垣国道殿 代理京都府大書記官国重正文殿	郵便紙 綴	野山入会差拒ミ訴訟に関する、明和元年旧舞鶴藩郡方役所日記写の信託と京都府の指示書
151	明治14年 10月13日	1881	[多門院村旧税・山税上納変遷]	加佐郡第六組戸長上羽與三左衛門(印)	—	郵便紙	雉子税・端折紙税他旧税、明治6年豊岡県山税へ変更、代金上納
152	(明治)	—	[多門院村旧高・諸運上書上]	—	—	郵便紙 綴	元禄11年9月代官草下与八郎様差上控写、195関連
153	明治9年 7月11日	1876	[溝尻村より多門院村野山入会山願出不承認申出]	豊岡県第拾五大区四小区多門院村新谷仁左衛門・同中井継蔵	豊岡県権令三吉周亮殿 代理、権参事大野右仲殿	郵便紙 綴	溝尻より旧舞鶴藩奉行所日記の古書で懇篤、後半に明治9年7月20日豊岡県権令三吉周亮宛の「御伺」
154	明治17年 3月28日	1884	記	京都府丹後国加佐郡多門院村惣代人中川岩造	全郡溝尻村惣代津田惣左衛門殿	郵便紙	大審院召喚状・上告状(明治16年)請取
155	(明治)10年 7月2日	1877	[惣代1名即刻出頭申付]	区務所(加佐郡第十区)	多門院郵受附所中(惣代中)	切紙	
156	(明治)11年 6月2日正午	1878	[溝尻村入山二付舞鶴へ出張、論山図面持参出頭申付]	上羽与三右衛門	新谷仁左衛門殿	切紙	封筒上書「多門院村戸長新谷仁左衛門殿 区長上羽与三左衛門」
157	(明治)	—	[封筒]	拾三区務所(印)	溝尻村・堂奥村・多門院村	封筒	封筒のみ
158	(明治)	—	[封筒]	—	京都府宮津支庁加佐郡第拾三区務取扱所	封筒	封筒のみ
159	(明治)8年 2月12日	1875	[大区区務所へ出張申付]	拾五大区区務所	多門院村用掛り中	切紙	多門院用掛り外惣代2名、17日午前10時
160	明治16年 8月15日	1883	[明治十六年分山林原野牧場及雑種地税第二期納税証明書]	(印)「京都府加佐郡役所印」	加佐郡多門院村戸長一瀬清吉	一紙	1円26銭8厘

161	明治 16 年 6 月 15 日	1883	[明治十六年分山林 原野牧場及雑種地稅 第一期納稅証明書]	(印)「京都府加佐郡 役所印」	加佐郡多門院村戸長一 瀬清吉	一紙	1 円 26 銭 8 厘
162	(明治) 19 年 10 月 28 日	1886	[領收書]	戸長木船衛門 (印)	多門院村中殿、「惣 代中川岩造」(朱字)	一紙	山税金 54 銭 2 厘
163	(明治) 19 年	1886	[領收書]	戸長木船衛門 (印)	多門院村持惣代中川岩 蔵殿	一紙	山税金 49 銭 5 厘
164	(明治) 14 年 11 月 4 日	1881	[争論地混入無儀照 会他書類]	租稅課地理掛	—	罫紙	溝尻村との争論の地、混入無の儀、追願書、御答書、 京都府御書下山反別
165	(明治)	—	記	—	—	罫紙	行永村池田弥太郎履歴、大庄屋、区长見習、権区 長任命、包紙「証拠物入、被告多門院村」、165 ～ 175 包紙一括
166	(明治)	—	[梅田壯二経歴]	—	—	罫紙	舞鶴士族、与保呂校教員和田先生の親類
167	(明治) 正月 25 日	—	[尋問出頭申付]	受付係	—	一紙	豊田町辻傳作、多門院村中川作二郎
168	明治 8 年 4 月 11 日 6 時発	1875	[溝尻村論談の野山 差留の間入山禁止申 付]	(豊岡県拾五大区) 五 小区戸長 (印)	多門院村伍長中	罫紙	
169	(明治)	—	[毘沙門堂奥の喜恩 庵慶龍盜難次第]	京都府下丹後国加佐 郡多門院毘沙門講中 惣代新谷仁左衛門	—	罫紙	明和 9 年正月の裏書、元和 2 年頃、付箋「十二号」
170	(明治) 9 年 6 月 19 日	1876	御差紙写	稅務係印	第拾五大区四小区戸長 中	罫紙	多門院村野山絵図面提出指示、副戸長→多門院郵
171	(明治)	—	郵送品目記	—	—	罫紙	山論関係書類 1 ～ 15
172	(明治) 10 年 7 月 17 日 午後 5 時発	1877	[山岳丈量従事人検 査のため出頭指示]	(丹後国加佐郡溝尻 村) 戸長 (印)	溝尻村堂奥村多門院村 受附所中、評価人中	罫紙	172 ～ 173 封筒一括、封筒「溝尻村ヨリ多門院 郵迄受附所中、戸長」
173	(明治)	—	[溝尻村より平尾山 入山前日多門院小兒 竹苺二付申付]	第十区區務所 (印「上 羽與左衛門」)	多門院村惣代中	一紙	
174	(明治) 9 年 7 月 19 日	1876	[小区内諸勘定取調 二付頭出指示]	副戸長 (印「津田」)	溝尻村御用掛り左近忠 左衛門殿、堂奥御用 掛吉田忠左衛門殿、多 門院村御用掛り山本傳 助殿	一紙	封筒入「溝尻村ヨリ多門院郵迄受附所中、副戸長」
175	(明治) 3 月 23 日	—	[多門院用掛・伍長 出頭指示]	拾五大区区长 (印)	多門院村用掛中	一紙	封筒入「溝尻村ヨリ多門院郵迄受附所中、拾五大 区戸長」
176	(明治)	—	[多門院村十五大区 用掛中 區務所 (本 急は朱)]	—	—	包紙	
177	(明治) 7 月 4 日	—	[通達]	—	用掛り一山本伝兵衛殿	一紙	多門院村用掛り 山本伝兵衛殿戸長への山論山入 り差免じ候
178	2 月 20 日	—	[通達]	區務所	溝尻村・堂奥村・多門 院村	一紙	24 日の選挙開設、地価 4 円以上のもの等
179	(明治) 11 年 7 月 20 日 午後 4 時	1878	[通達]	區務所	多門院村戸長惣代中	一紙	區務所への出頭
180	(明治) 2 月 22 日	—	[通達]	副戸長 (印)	多門院村受附所中	一紙	本県からの招呼の儀につき
181	明治 12 年 5 月 5 日	1879	[通達綴]	地券掛	第六組戸長役場、溝尻 村、堂奥村、多門院村 惣代中	罫紙	地券掛の舞鶴出張において收穫物等の取調につき
182	明治 14 年 7 月 10 日	1881	故障地有無調査	餘部上村惣代瀬野太 左衛門他 11 村惣代	京都府知事北垣国道殿 代理京都府大書記官国 重正文殿	罫紙	山林等に故障や争論等で所有者が未定地取調
183	明治 6 年 7 月 17 日	1873	[訴答文例の布告写]	太政大臣三条実美	—	罫紙	訴答文例と附録別冊につき
184	明治 6 年 12 月	1873	奉指上御請書之事	加佐郡多門院村惣代 中川仙治郎 (印)、新 谷仁左衛門 (印) 同 村戸長山本伝兵衛 (印)	豊岡県宮津御支庁	罫紙	溝尻村より惣入会と偽出訴につき

185	明治 14 年 5 月 13 日	1881	御伺書	京都府丹後国加佐郡 第六組多門院村惣代 新谷仁左衛門（印）、 同惣代中川岩造代、 京都府愛宕郡第三組 修学院村早瀬寅次郎 （印）	京都府知事北垣国道殿	郵便紙	共有野山処分に付別紙書類、豊岡県より引き継ぎ 有無
186	大正 7 年 1 月 11 日	1918	京都府加佐郡公報 133 号	京都府加佐郡役所	—	一紙	郡令、庁内記事、町村吏員移動等
187	大正 7 年 1 月 21 日	1918	京都府加佐郡公報 134 号	京都府加佐郡役所	—	一紙	通牒、庁内記事、町村吏員移動等
188	(明治)	—	山論事件ノ来歴	—	—	一紙	明治 6 年 8 月～20 年 3 月 23 日、後欠
189	(明治)	—	[溝尻村申出新林・ 新畑関連文書写]	—	—	一紙	明和 2 年 3 月 29 日、溝尻村庄屋年寄、大庄屋上 安村五左衛門宛他
190	大正 10 年 4 月 28 日	1921	[道路敷官有地寄付 願附書等]	加佐郡長根元吉太郎 （印）	寄付者惣代多門院 15 番戸山本竹蔵他 11 名	縦帳	由里下・荒倉畑、道路敷地として国に寄付認可 状他
191	—	—	土地分割届	—	—	縦帳	村名・字名・地目・反別・地価、図
192	昭和 21 年 2 月	1946	保管金収支帳	町内会長	—	縦帳	寺関係、森林組合、特別基金等
193	(昭和 34 年)	1959	多門院林道作業日誌	多門院字黒部	—	縦帳	多門院小字大口園有林調査報告書、昭和 34 年 3 月あり
194	明治 17 年 7 月 19 日	1884	徴兵事務條例	京都府	—	縦帳	印刷、国民兵入籍御届、丹後国加佐郡多門院村
195	享保 12 年 正月	1727	多門院村御検ノ書之 写、仕出目録改	同黒部持主富林伊左 衛門	—	縦帳	村手鑑、土目録、寛保 4 年漆畑、明治期の田畑調 帳関連文書挟込
196	(明治 20 年 4 月 24 日)	1887	証抛物之写	丹後国加佐郡多門院 村	—	郵便紙	第 16～33 号、明治 14 年 10 月 6 日控訴の提出 証抛物以外
197	(明治) 14 年 5 月 10 日	1881	[封筒]	宮津宮所町山田嘉平	西京下第七区中ノ町野 田金蔵様方止宿新谷仁 左衛門様・中井縫藏様	封筒	朱書、封筒に挿絵
198	明治 16 年 4 月 13 日	1883	御請書	京都府平民代人池田 秀亮	大院控訴裁判所判事齋 藤金平殿	縦帳	控訴の証抛物返却受領、御願書、止宿届、上伸書 他
199	明治 14 年 11 月 12 日	1881	野山入会差拒控訴之 答書	京都府下丹後国加佐 郡溝尻村平民上羽辰 蔵外 50 名代人大阪 府下東区北浜 4 丁目 第 38 番地寄留石川県 土族菊池侃二印	大阪上等裁判所判事宇 都宮英信殿	縦帳	1～4 条、1 被告村権利の所在を陳述、2 本訴起 因の来歴陳述、3 原告控訴赴旨を弁駁、4 要求決 旨
200	明治 16 年 2 月 7 日	1883	弁論書	京都府平民丹後国加 佐郡多門院村原告中 川仙次郎外 73 名代人 全府平民下京区第七 組中ノ町原告池田秀 亮	大院控訴裁判所判事齋 藤金平殿	縦帳	1～8 条、豊岡県裁決、再訴、旧舞鶴藩日記等
201	明治 7 年 7 月 25 日	1874	委任状	豊岡県御管下第拾五 大区五之小区多門院 村中	—	縦帳	明治 6 年よりの溝尻村との山論訴訟のため、長た る 12 人選挙
202	昭和 34 年 10 月～昭和 35 年 7 月	1959	吉國材木與共有林売 却関係綴	字多門院	—	縦帳	
203	(明治 19)	1886	[山論上申書下書]	—	—	縦帳	1～8 条、5 明治 19 年 8 月 23 日上申書の下書 か
204	明治 43 年 9 月	1910	由里鼻棧道改修費寄 附金名簿	区長富林太吉	—	縦帳	
205	明治 33 年 整理	1900	郡村宅地名寄帳	—	—	縦帳	
206	明治 7 年 9 月 14 日	1874	取喫人江差出候始末 書之下書	豊岡県管内加佐郡多 門院郷	—	縦帳	多門院村野山一件、習書挟込

207	明治 14 年 10 月 6 日	1881	野山人会差拒ミノ控 訴状	京都府平民丹後国加 佐郡第六組多門院村 899 番地原告中川仙 次郎外 73 名代人全府 平民下京区第七組中 ノ町 248 番地原告池 田秀亮	大阪上等裁判所判事小 畑美稲殿	縦帳	1～3 条、旧舞鶴藩日記等
208	昭和 26 年 8 月	1951	東森林組合定款森林 法抜粋	多門院	—	縦帳	森林法の抜粋と概説
209	(明治)	—	廻達	第六組戸長役場 (印)	溝尻村・多門院村	封筒	「至急」の朱書、封筒のみ
210	(明治)	—	{包紙}	—	—	包紙	函面を多門院へ差し戻す旨、朱書
211	大正 6 年 3 月	1917	農事報	—	—	縦帳	孵化育雛、病虫害防除等、破損有
212	—	—	{賃金支給次第}	—	—	縦帳	賃金、京都府に於ける最高及最低基本日給額表、 京都府に於ける最高及最低基本月給額表、破損有、 前欠、印刷
213	昭和 26 年 度上半期	1951	市道林道溝地支払帳	山本一	—	縦帳	田、畑、宅地の一坪あたりの値、適用者及び数値 表
214	昭和 27 年度	1952	電話架設共有林売買 関係書類綴	総代新谷長衛	—	縦帳	山林立木売買契約書、会館利用者名簿等、寒中見 舞葉書、封筒挟込
215	明治 9 年～ 20 年	1876	異動地書類	—	—	縦帳	損地小前書上簿、荒地年限下調帳、荒地ヲ山地工 編入願等
216	明治 16 年 6 月 13 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字多門前 52 番地井溝敷 1 畝 14 歩
217	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字バガ谷 4 番地井溝敷 28 歩
218	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字中ノ坪 55 番地井溝敷 8 畝 2 歩
219	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字宮ノ下 72 番地井溝敷 2 畝 5 歩
220	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字家奥 70 番地井溝敷 12 歩
221	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字荒倉 64 番地井溝敷 1 畝 20 歩
222	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字中嶋 62 番地井溝敷 21 歩
223	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字中嶋 61 番地井溝敷 1 畝 8 歩
224	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字上小西 17 番地井溝敷 23 歩
225	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字岩バナ 13 番地井溝敷 1 畝 10 歩
226	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字黒丸 12 番地井溝敷 6 畝 10 歩
227	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字黒部 44 番地井溝敷 2 畝 18 歩
228	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字上桑飼 5 番地井溝敷 4 畝 25 歩
229	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字二反田 25 番地井溝敷 3 畝 28 歩
230	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字赤田 32 番地井溝敷 1 畝 4 歩
231	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字中嶋 59 番地井溝敷 1 畝 6 歩
232	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字小西 14 番地井溝敷 1 畝 10 歩
233	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字中ノ坪 56 番地道路敷 1 畝 18 歩
234	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字下小西 15 番地井溝敷 1 畝 24 歩
235	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新 (印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字梶ヶ谷 10 番地井溝敷 2 畝 25 歩

236	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字下桑岡 6 番地井溝敷 2 畝 18 歩
237	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字中小西 16 番地井溝敷 4 畝 26 歩
238	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字山崎 57 番地井溝敷 5 畝 5 歩
239	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字二反田 24 番地井溝敷 1 畝 17 歩
240	明治 19 年 5 月 25 日	1886	地券	京都府主事加佐郡長 野田新(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字荒倉畑 1 畝 11 歩 地価金 3 円 23 銭此百分ノ 2ヶ半金 8 銭 1 厘 地租
241	明治 10 年 6 月 10 日	1877	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字由り下荒地 18 歩 地価金此百分ノ 3 金 地租 明治 10 年ヨリ此 100 分ノ 2 箇半金 地租
242	明治 10 年 6 月 10 日	1877	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字荒倉耕地 29 歩 地価金 3 円 55 銭 此百分ノ 3 金 10 銭 7 厘 地租 明治 10 年ヨリ此 100 分 ノ 2 箇半金 地租
243	明治 14 年 6 月 17 日	1881	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主新 谷仁左衛門	一紙	字多門奥 623 番地 山林反別 1 畝 22 歩 地価 1 銭 5 厘 此 100 分ノ 3 金厘位未滿 地租 明治 10 年ヨリ此百分ノ 2 箇半金厘位未滿 地租
244	明治 14 年 6 月 17 日	1881	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主新 谷仁左衛門	一紙	字多門奥 638 番地 山林反別 1 反 9 畝歩 地価 金 16 銭 4 厘 此 100 分ノ 3 金 5 厘 地租 明 治 10 年ヨリ此 100 分ノ 2 箇半金 4 厘 地租
245	明治 10 年 6 月 10 日	1877	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字財木墓地 1 畝 9 歩 地価金 此 100 分ノ 3 金 地租 明治 10 年ヨリ此 100 分ノ 2 箇半金 地租
246	明治 10 年 6 月 10 日	1877	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字財木堂敷 28 歩 地価金 1 円 67 銭 此 100 分 ノ 3 金 5 銭 地租 明治 10 年ヨリ此 100 分ノ 2 箇半金 地租
247	明治 14 年 6 月 17 日	1881	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主新 谷仁左衛門	一紙	字ヲソノ口 475 番地 山林反別 2 畝 13 歩 地価 金 2 銭 1 厘 此 100 分ノ 3 金 1 厘 地租 明治 10 年ヨリ此 100 分ノ 2 箇半金 1 厘 地租
248	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字カドノクチ 31 番地井溝敷 1 畝 12 歩
249	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字二反田 26 番地道路敷 8 畝 11 歩
250	明治 14 年 6 月 17 日	1881	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主中 川徳次郎	一紙	字向山 254 番地山林反別 28 歩 地価金 8 厘 此 100 分ノ 3 金厘位未滿 地租 明治 10 年ヨリ此 100 分ノ 2 箇半金厘位未滿 地租
251	明治 14 年 6 月 17 日	1881	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主中 井清兵衛	一紙	字黒部谷 6 番地山林反別 5 畝 5 歩 地価金 3 銭 5 厘 此 100 分ノ 3 金 1 厘 地租 明治 10 年ヨリ 此 100 分ノ 2 箇半金 1 厘 地租
252	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字橋木林 46 番地井溝敷 1 畝 11 歩
253	明治 16 年 6 月 23 日	1883	地券	京都府主事加佐郡長 野田新(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字中嶋 58 番地道路敷 1 畝 5 歩
254	明治 10 年 6 月 10 日	1877	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字多門堂敷 13 歩 地価金 77 銭 此 100 分ノ 3 金 2 銭 3 厘 地租 明治 10 年ヨリ此 100 分ノ 2 箇半金 地租
255	明治 10 年 6 月 10 日	1877	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字多門耕地 3 畝 2 歩 地価金 13 円 56 銭 此 100 分ノ 3 金 40 銭 7 厘 地租 明治 10 年ヨリ 此 100 分ノ 2 箇半金 地租
256	明治 10 年 6 月 10 日	1877	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字中坪耕地 1 畝 3 歩 地価金 5 円 78 銭 此 100 分ノ 3 金 17 銭 3 厘 地租 明治 10 年ヨリ此 100 分ノ 2 箇半金 地租 外二荒地 18 歩
257	明治 10 年 6 月 10 日	1877	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字ヲソノ口耕地 6 畝 29 歩 地価金 14 円 8 銭 此 100 分ノ 3 金 42 銭 2 厘 地租 明治 10 年ヨ リ此 100 分ノ 2 箇半金 地租
258	明治 10 年 6 月 10 日	1877	地券	京都府(印)	加佐郡多門院村持主村 中	一紙	字ヲソノ口耕地 5 畝歩 地価金 10 円 10 銭 此 100 分ノ 3 金 30 銭 3 厘 地租 明治 10 年ヨリ 100 分ノ 2 箇半金 地租
259	(明治 3)	1870	蓬艾札	多門院村役人(印)	—	木札 2	堂奥村付与の木札 2 枚が紐繋ぎ、山論裁判の証拠
260	(昭和)27 年度	1952	金銭出納帳	—	—	帳簿	共有金出納等
261	昭和 37 年度	1962	求翰綴	会計奥野慶蔵	—	綴	国民保険料通知、収納金額合計、手数料合計等
262	昭和 36 年度	1961	領収証綴	多門院会計石川正高	—	綴	

263	昭和 37 年度	1962	集金元簿綴	会計奥野慶藏	—	綴	集金表、氏名、金額等
264	昭和 37 年度	1962	領収書綴	会計奥野慶藏	—	綴	
265	昭和 36 年度	1961	徴収明細簿	多門院会計石川正高	—	綴	明細表、集金表 3 枚
266	昭和 36 年度	1961	納税徴集関係綴	多門院会計石川正高	—	綴	組合費個人別調書等、表
267	昭和 40 年	1965	領収書綴 甲	会計浅尾岩藏	—	綴	
268	昭和 40 年	1965	領収書綴 乙	会計浅尾岩藏	—	綴	
269	昭和 40 年	1965	文書綴	多門院会計	—	綴	固定資産税の納付と配布等
270	昭和 40 年 4 月 5 日他	1965	(書類等一括)	—	—	綴、一 紙	消防後援会総会の開催、昭和 36 年度下半期等級 割等、紐一括
271	昭和 40 年度	1965	一般米翰文書綴	—	—	綴	昭和 40 年国勢調査員の選任等
272	昭和 39 年度	1964	農事関係綴	—	—	綴	米品種別作付面積等
273	昭和 34 年他	1959	(会計書類一括)	—	—	一紙	昭和 34 年度祖母谷消防後援会収支決算書他、紐 一括
274	昭和 41 年度	1966	文書綴	—	—	綴	日本脳炎予防接種希望者の申込他
275	昭和 42 年他	1967	(書類等一括)	—	—	一紙	昭和 42 年度大字一般会計収支決算書、サンケイ 団地高級分譲地ご案内等、紐一括

表紙の解説

	1	2	3
5		4	
(裏)		(表)	

- 1 丹後風土記残欠倉部山 = 高梯郷の中心地
(舞鶴市多門院字梯木林) 新谷一幸氏撮影
- 2 大宮売神社旧本殿の調査風景 近藤史昭氏撮影
- 3 稲の虫送り (舞鶴市多門院) 新谷一幸氏撮影
- 4 舞鶴湾口から青葉山など東地域の山 松岡秀雄氏撮影
- 5 京丹後市大宮売神社の境内 菱田哲郎氏撮影

京都府立大学文化遺産叢書 (2008 ~)

- 1 南山城・宇治地域を中心とする歴史遺産・文化的景観の研究
- 2 近世伊予越智島地域における流動する人・物・情報
—御用日記・諸願控の総合的研究—
- 3 八幡地域の古文書と石清水八幡宮の絵図—地域文化遺産の情報化—
- 4 八幡地域の古文書・石造物・景観—地域文化遺産の情報化—
- 5 丹後・宮津の街道と信仰
- 6 城陽地域の地域文化遺産—神社・街道の文化遺産と景観—
- 7 熊野の信仰と景観—宗教遺産学の試み—
- 8 石見銀山城の歴史と景観—世界遺産と地域遺産—
- 9 和束地域の歴史と文化遺産
- 10 八幡・南山城地域の寺院資料と信仰—京都府歴史資料調査—
- 11 舞鶴の文化遺産と活用
- 12 「丹後の海」の歴史と文化
- 13 古代寺院の儀礼・経営に関する分野横断的研究



京都府立大学文化遺産叢書 第14集 舞鶴・京丹後地域の文化遺産

編集 東 昇・菱田 哲郎
発行 京都府立大学文学部歴史学科
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5
発行日 2018年3月30日
印刷 サンケイデザイン株式会社
〒603-8165 京都市北区紫野西御所田町 14 番地 2